

参考様式 4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	小諸深沢地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
小諸市	202088	1	H20年～25年	H20年～25年
活性化計画の区域				
小諸深沢地区（長野県小諸市）				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備 考
交流人口の増加	20.01%	36.60%	182.9%	

(コメント)

本計画区域内にて実施される都市農村交流（グリーン・ツーリズム）の人口を対象として年間交流人口の増加を目標とした。達成率の算定は事業実施前である平成18年度、19年度の交流人口平均値から平成25年度の交流人口の増加率を算定することにより行ったが、36.60%増となり目標を達成した。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
土地改良施設保全	農村のみち整備 道路工L=2,170m		小諸市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
小諸市	平成22年度	平成25年度	平成26年1月29日
事業の効果			
農村のみちの整備をおこなったことにより農業交通機能が向上し、また地域資源間の道路網の強化が図れた。			

3 総合評価

(コメント)

本事業及び深沢地区生活環境保全林整備事業（事業主体は東信森林管理署）での道路整備により農業・林業の合理化が図れ、捏棒岩を代表する森林自然へアクセスが容易になった。また、中山間地域総合整備事業に本事業を加えたことにより、地域資源間の道路網強化が図れ、農業経営の合理化や都市農村交流などの地域活動が活発となった。

4 第三者の意見

(コメント)

活性化計画における目標値も達成し、中山間地域総合整備事業による「みはらし交流館」及び、本事業の「農村のみち」が整備されことにより、交流施設機能の向上がおこなわれたため都市農村交流の増加につながったことは十分評価ができるものとする。

今後、さらなる地域活性化の中心となることが期待される。

(小諸市農業委員会 会長 大池 猛)